

議事録 《先生と生徒会の関わり方》

第一班 小倉琳

①まず生徒会が先生方と関わる活動を付箋に書いてもらいました

②それをもとにして、生徒会と先生の関わり方をパターン分けしました

- A **指導型**：先生方の権力が比較的強く、生徒会はその命令を受けて活動する関係
- B **対立型**：生徒と先生方の権力が対等だが、生徒会活動において先生方との対立や論争が起りやすい関係
- C **友好型**：先生方と生徒会の関係は比較的穏やかで、先生方の協力を得やすい関係
- D **独立型**：通常の生徒会活動においては先生方の干渉を受けない関係

③それぞれのパターンにおいての長所・短所について話し合いました

- A **長所**：先生方がストッパーになるため、重大な問題を起こしにくい
短所：生徒会独自の活動が行いにくい
- B **長所**：先生方との交渉を経て、自らのスキルアップにつながる
生徒会の意思で活動できるため、生徒会役員のモチベーションが高い
短所：企画が没になることが多い
先生方との関係が悪くなり、日常生活にも影響することがある
- C **長所**：生徒会の意思で活動できる上、企画が比較的通り易い
企画が通らない場合でも、その理由に納得できる
短所：企画書を出しに行った際に、その事以外の話が始まってしまう為、話が長くなっ

てしまう

D **長所**：生徒会の自主性が非常に高いため、他のどのタイプよりも自分たちの意思で活動できる。それに比例して、生徒会役員のモチベーションが高い

短所：ストッパーとなる先生方がいないため、問題が起きた時、全責任を生徒会が追うことになる

④最後により良い関係を築いていくには何をするのが有効か考えました
まず、我々の班が考える理想的な関係性は

C 友好型

この関係性に近づくためには…

- ・頻繁に活動報告書を作成し、生徒会の功績を押し出す
→活動報告書の内容もただやった事を羅列するだけでなく、今後の活動予定やその活動による影響を予測し掲載することで、内容の充実化を図るとより効果的
- ・日常生活を見直し、日ごろから生徒会役員に対する評価向上を目指す

⑤まとめ

生徒会と先生方の関係性は学校に違い、それは様々な事情によって今の形を成していると考えられる。それは、時に生徒会活動において満足のいかないものであるが、その状況を改善したいと願うならば、それを嘆くのではなく、状況改善に何ができるのか考える必要がある。